

今後の四都市スポーツ大会に関するアンケート調査結果

【調査の目的】

四都市スポーツ大会は、広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進、体力の向上、さらには北部四市の友好と親睦を図ることを目的に開催する京都府北部の伝統あるスポーツ大会である。

しかしながら、昨今の少子・高齢化、さらには3年余り続いた新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、参加者が年々減少し、実施が中止となる競技が出るなど、様々な課題も発生している。

そのため、今後の大会のあり方について見直しを行うため、四都市スポーツ大会に参加する競技団体から意見等を聞くことを目的に実施した。

【実施概要】

- 調査対象：陸上競技、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、テニス、卓球、バドミントン、野球、ソフトボール、サッカー、柔道、剣道、弓道、空手道、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、ターゲット・バードゴルフ
18競技団体×4市＝72競技団体

- 実施期間：令和5年6月実施

- 回収数・回収率：回収数59／回収率81.9%（7月25日現在）

【アンケート結果】

問1 四都市スポーツ大会の開催についての設問です。

今後も継続して開催することを希望しますか。あてはまる番号を○で囲んでください。「2 希望しない」を選んだ方はア～エのあてはまる理由すべてを○で囲んでください。

1 希望する ⇒ 問2へ

2 希望しない ⇒ あてはまる理由すべてを○で囲んでください。⇒問4へ

理由

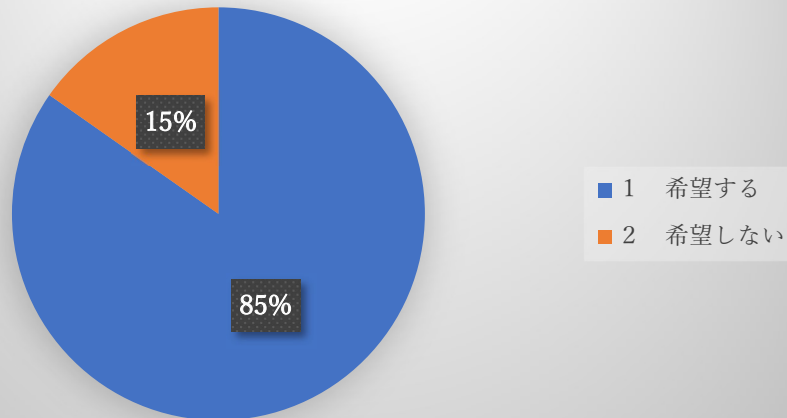
ア 所期の目的を達成したと思うため。

イ 選手集めが大変で、チーム編成等も容易ではなくなっているため。

ウ 種目別協会への負担が大きい。ため。(大会準備、当時運営など)

エ その他 ()

問1 四都市大会の継続希望割合



1 希望する：50団体

2 希望しない：9団体

○舞鶴市バスケットボール（理由ア、イ）

○福知山市ソフトテニス（理由ア、イ、ウ、エ）

エ その他

・府民総体が同様の大会であるため。

・選手が揃わない競技もあることから、全種目の対戦ができなくなっているため

- ・年度末に多くの手続きが重なる
- ・競技によっては、順位が固定化しているため、参加しようとする意欲が低下してきている。

○綾部市柔道（理由イ、ウ）

○舞鶴市剣道（理由ア、イ、エ）

エ その他

- ・種目によっては選手が枯渇しはじめている

○福知山市サッカー（理由ア、ウ、エ）

エ その他

- ・四市の人口や施設に差がありすぎる。バランスが取れていない

○福知山市テニス（理由イ、ウ）

○宮津市空手道（理由イ）

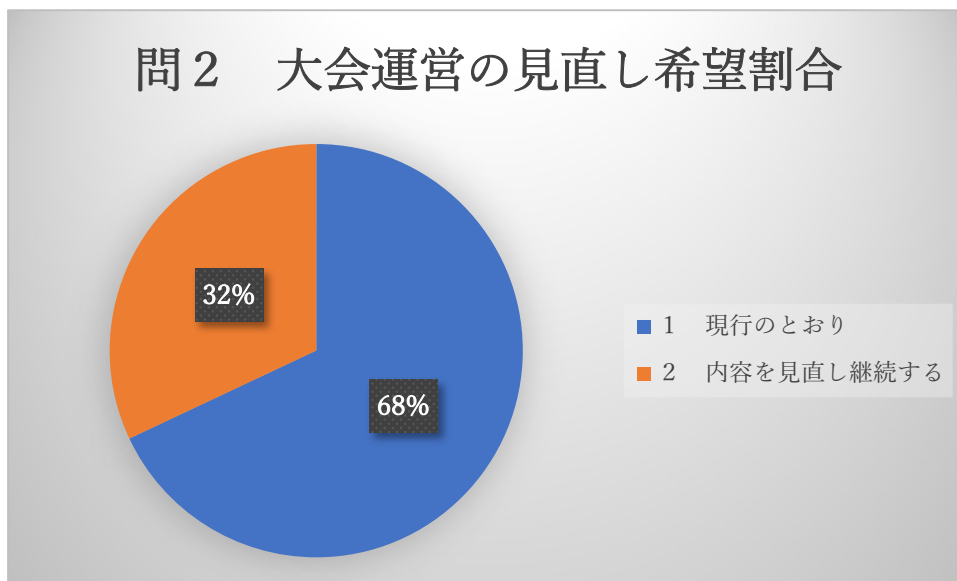
○舞鶴市空手道（理由イ）

○福知山市空手道（理由ア、イ、ウ）

問2 問1で「1 希望する」を選んだ方への設問です。

開催する場合の競技方法について、どのような方式を希望しますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- 1 現行のとおり ⇒ 問4へ
- 2 内容を見直し継続する ⇒ 問3へ



- 1 現行のとおり：34団体
- 2 内容を見直し継続する：16団体

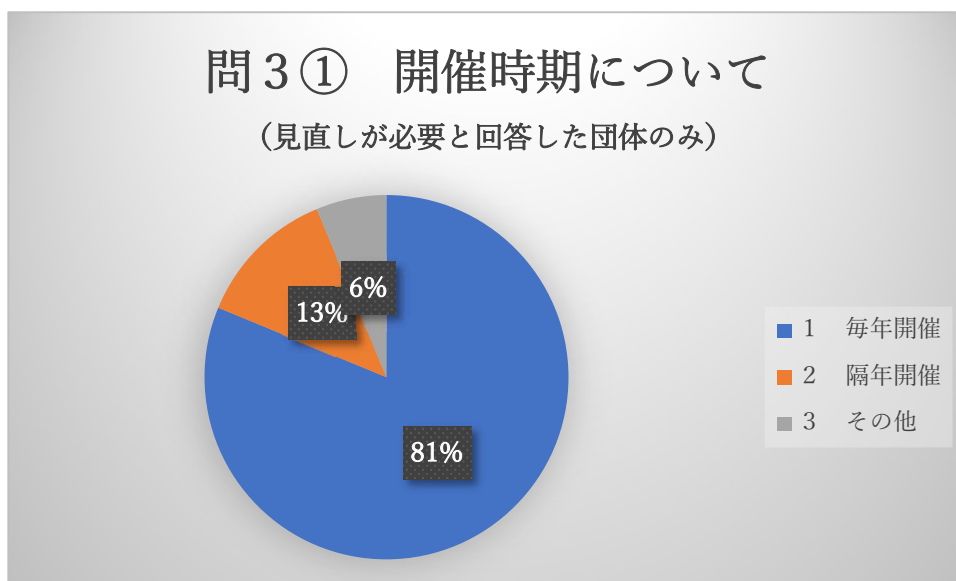
問3 問2で「2 内容を見直し継続する」を選んだ方への設問です。

① 開催年についての設問です。希望する番号を○で囲んでください。

1 毎年開催

2 隔年開催

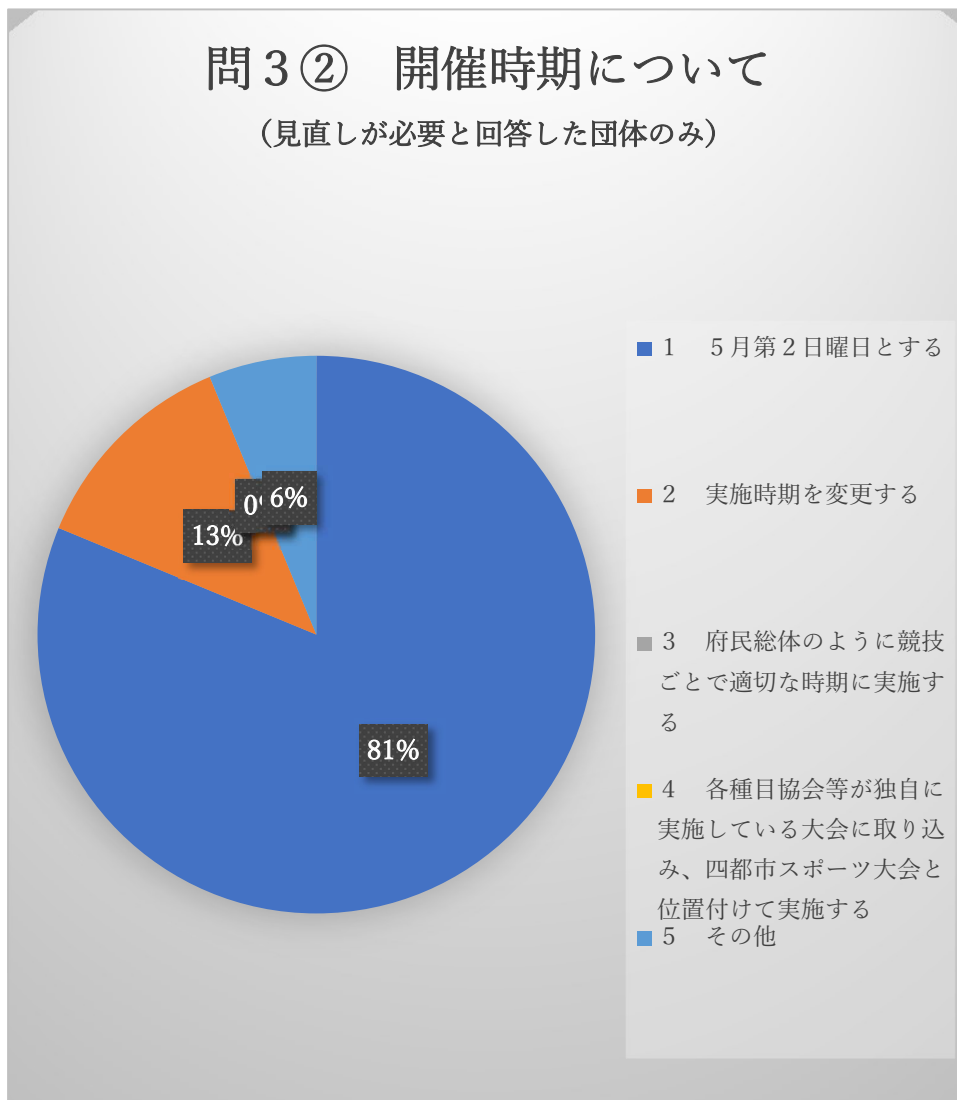
3 その他 ()



- 1 毎年開催：13団体
2 隔年開催：2団体
○綾部市ソフトボール
○綾部市野球
3 その他：1団体
○綾部市ゲートボール

② 開催時期についての設問です。希望する番号を○で囲んでください。

- 1 これまで通り 5月第2日曜日とする
- 2 実施時期を変更する
- 3 府民総体のように競技ごとに適切な時期に実施する
- 4 各種目協会等が独自に実施している大会に取り込み、四都市スポーツ大会と位置付けて実施する
- 5 その他 ()



- 1 これまで通り 5 月第 2 日曜日とする：13 団体
- 2 実施時期を変更する：2 団体
 - 福知山市バスケットボール
 - 綾部市グラウンドゴルフ：秋ごろ
- 3 府民総体のように競技ごとに適切な時期に実施する：0 団体
- 4 各種目協会等が独自に実施している大会に取り込み、四都市スポーツ大会と位置付けて実施する：0 団体
- 5 その他：1 団体
 - 綾部市剣道：5 月第 3 日曜日

《自由記述から》

※競技によっては、各種目協会が独自に実施している大会に取り込み、四都市スポーツ大会と位置付けて実施する場合があってもよいと思います。

(バスケットボール綾部)

※全競技が同一日でなくとも、施設や団体の事情等に応じた融通への対応も継続に向けた選択肢の一つとして考えております。

(バレーボール舞鶴市)

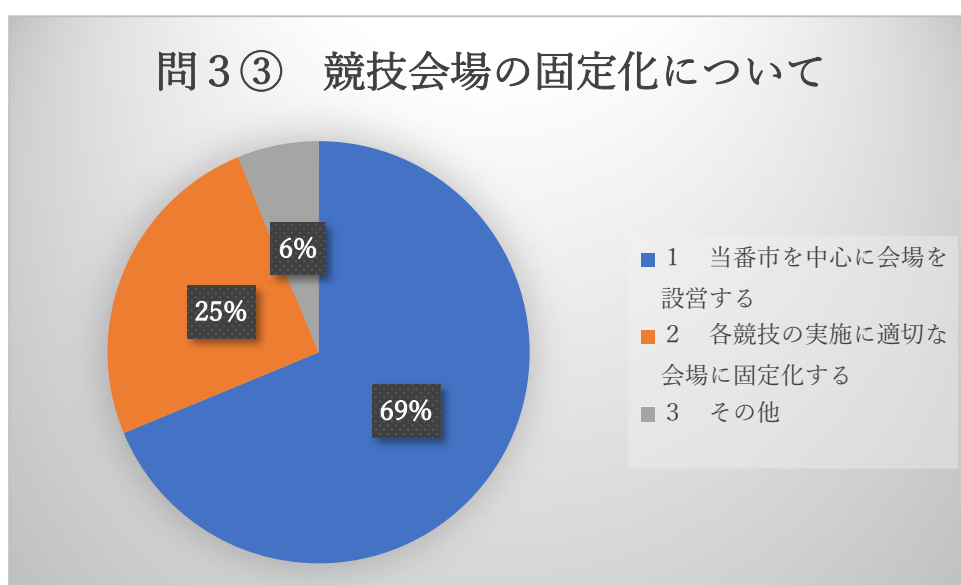
※ソフトテニスでは、大会予定日が近畿大会と重なることが度々あり、選手を集めることが難しいことがある。近畿大会は一般の部とシニアの部に別れ、いずれも別日の日曜日に開催されるため、今後重なる可能性が高まる。

よって全競技が同一日ではなく、種目毎に開催日を設定する。

(ソフトテニス福知山市)

③ 競技会場の固定化についての設問です。希望する番号を○で囲んでください。

- 1 これまで通り当番市を中心に会場を設定する
- 2 各競技の実施に適切な会場に固定化する
 (例) 陸上競技：丹波自然運動公園 陸上競技場
 (具体的な会場→)
- 3 その他 ()



- 1 これまで通り当番市を中心に会場を設定する：11団体
- 2 各競技の実施に適切な会場に固定化する：4団体
- 綾部市ソフトテニス：高倉公園テニスコートは不向き
 - 綾部市サッカー：三段池RAVIHOUSEフィールド
 - 舞鶴市テニス：三段池公園テニスコートと東舞鶴公園テニスコートを隔年
 - 宮津市ボウリング
- 3 その他：1団体
- 綾部市ボウリング：舞鶴市マリンボウル辞退のためサンケイボウルのみ

※陸上：丹波自然運動公園 陸上競技場
 サッカー：三段池RAVIHOUSEフィールド
 テニス・ソフトテニス：三段池公園テニスコートと東舞鶴公園テニスコート
 ボウリング：サンケイボウル
 TBG：常設コース（18ホール）のある福知山市と舞鶴市の2会場

④ その他、見直しを必要とする内容等を具体的にお書きください。

《自由意見》

陸上競技については、社会人の大会が北部には無いため継続して実施していきたいと考えています。尚、実施方法については、選手集めの面からも毎年見直しながら実施していくことを4市で申し合わせています。

(陸上福知山市)

毎年選手集めも大変ですが、バレーボール種目が一番苦慮するのが審判員を3名出さなければいけないところです。連盟、協会に審判の資格がある人が2名しかいない状況で、必ず3名出すのが難しいです。3名のところを2名もしくは1名でも良いにしてもらえたらありがたいですが。

(バレーボール宮津市)

競技運営上の検討事項として、本年度のバレーボール会場に出ていた意見ですが、いずれに市においても選手の確保が困難な状況があります。府民総体で取り扱われているように大学生やふるさと選手の参加について検討が必要ではないかとの声が上がりました。

開催要項の改正に関わるものですので、大会全体として検討いただけたらありがたいと思います。

(バレーボール綾部市)

競技数は減らさざるをえない状況にあると思います。

また、競技によっては、各種目協会が独自に実施している大会に取り込み、四都市スポーツ大会と位置付けて実施する場合があってもよいと思います。府民総体や会場を固定化せざるをえない点もあると思います。以上、柔軟に対応されてもよいと感じています。

(バスケットボール綾部市)

屋外競技の雨天時中止の判断が各競技団体での判断のため、判断が難しい。また、午前6時には判断することと資料に書いてあったため6時時点での状況で中止を判断したが、競技開始時間を遅らせれば開催できていたかもしれない。

できることなら屋外競技の中止の判断は、大会事務局で判断基準を設けていただき(競技時間を遅らせる等も含めて)判断いただきたい。高倉公園テニスコートは水捌けが悪いので競技会場としては不向きと思います。

(ソフトテニス綾部市)

年代別の種目の年齢の基準について、四都市全体では「大会当日の年齢」として
いるが、府民総体等の基準「当該年度に達する年齢」で実施したい。

(卓球綾部市)

一市でも、大会に不参加(選手派遣をしない)があった場合は、交流試合として
総合優勝に加点しない方がよい。四市で競技を通して交流と親睦を深める事が
目的なのでその方がよいと考える。しかし、交流試合としての試合には順位をつ
け、表彰は実施する。

(柔道舞鶴市)

出場不可能な原因として、選手不足が第一と考えます。競技毎に運営可能な選手
の編成や試合方法により開催できる競技もあると思いますが、選手の編成が固
定化するような競技は根本的に四都市大会の規定を改正しなければいけない時
期になっていると思います。選手不足の市を2市合併にする(宮津市と京丹後市
の合併等)、他市からの人数限定による選手起用(ただし協会・連盟加入者に限
る等)

(剣道福知山市)

今回の大会は、剣道競技においては宮津市が急遽、欠場となり3市のみの競技と
なった。来年度、継続実施となった場合の剣道競技については、綾部、福知山、
舞鶴、宮津(次回当番市)の剣道団体と内容や運営方法の見直しが必要と考える。

(剣道綾部市)

毎年同じ市が優勝となるのでそのあたりも何とかならないか。人数的に出場自
体が難しい市などの人数合わせ

(弓道福知山市)

年代別の枠で選手が揃わない枠ができています

(バドミントン綾部市)

役員のなりて不足などがある中で、2会場運営は現実的ではない。三段池のよう
に会場で2面とれる会場でなければ実施は難しい。また、近年は人工芝のグラウ
ンドなどが整備されており、以前のように条件の悪い会場でプレーする機会が
減ったため、選手もある程度条件の整った会場でのプレーを希望している。

(サッカー綾部市)

参加チーム数により対戦方法を検討する。

(ゲートボール綾部市)

参加選手の人数について

第72回大会（主管、宮津市）から府民総体ボウリング大会と同じ選手数で実施させていただければ。選手の高齢化に伴い、人数確保に苦労している状況です。

（ボウリング宮津市）

ボウリング競技において舞鶴市では会員の高齢化や減少が続いており、従来の12名の参加者を確保するのが難しくなっている。また当番時会場としていたマリンボウルで総勢48名出の開催が困難になったこともあり、参加人数を府民総体に準じて各市6名に見直すことを検討してほしい。

（ボウリング舞鶴市）

今後チーム構成人数を減らすことを検討する可能性があります。

（ボウリング綾部市）

選手数が妥当かどうか

（グラウンドゴルフ福知山市）

各市の色リボンを付けているが全市ベストを持っているので不要と思われる。

（グラウンドゴルフ綾部市）

TBGの専用の常設コース（18ホール）が福知山市と舞鶴市のみであり、この2会場で競技を実施する。

（ターゲットバードゴルフ宮津市）

福知山市の市ノ谷公園のように綾部市もターゲットバードゴルフ用のグラウンドが欲しい。

参加人数が多いので駐車場、トイレ、電源が必要

（ターゲットバードゴルフ綾部市）

問4 その他、四都市スポーツ大会についてご自由にお書き願います。

《自由意見》

毎年けが人が出ています。看護師の配置をお願いします。

各競技の実施に適切な会場に固定化する

(陸上宮津市)

四都市スポーツ大会については、当初の目的・目標が達成されたと考え、あり方について検討する必要があると思いますが、永年継続して実施されて来たことや歴史・伝統的なことも配慮しつつ、見直しをしていただければありがたいと考えます。

(陸上福知山市)

各競技の実施に適切な会場に固定化する

(陸上綾部市)

全競技が同一日でなくとも、施設や団体の事情等に応じた融通への対応も継続に向けた選択肢の一つとして考えております。

(バレーボール舞鶴市)

4年ぶりに春季大会が開催できたことにより、大会に集まる選手・役員、観客のエネルギーを感じることができました。両丹地方で最も大会レベルの競技会であることを再認識できた大会となりました。

4年ぶりの大会開催で運営いただいた綾部市にはご苦勞も多かったことと思います。大変お世話になりました。

○開催要項「3 参加資格について」各競技、競技人口の減少が大きな課題であり、**集団スポーツにおいてはチーム編成が厳しくなっています。**要項では、参加資格について、一般社会人に限定し、学校教育法第1条に規定する学校の生徒を除いていますが、夜間定時制、通信制課程の生徒の参加を認めているなど現状にそぐわない点や、エントリー変更により当日登録した選手が大学生であってもエントリー用紙を見るとチャックする機能がないことなど課題を感じました。四都市スポーツ大会の趣旨に測り、四市が各団体競技でそろって参加できるよう、**参加資格について再考することが必要**であると考えます。

○競技会場の固定化に関わる点競技ごとに会場を固定化することは希望しませんが、当番市の会場だけでは使用を希望する競技種目が複数重なる場合があります。**選手・役員・予想される観客の数、駐車場の大きさも併せて検討し、当番市以外で競技運営が行いやすい会場で開催が望ましい**と思います。

将来的な実施競技についてスポーツ競技を見直し、生涯スポーツの視点やニュースポーツの視点を尊重した競技種目の検討も必要かと思います。

(バレーボール福知山市)

選手の発掘や運営方法の見直しなど課題はありますが、バレーボールについて本年度が4年ぶりの競技の実施となりました。各市の関係者が一様に語っておられたのは、負担はあるがこうして協議会を行うことで交流の面、競技力向上へのきっかけ、地域の盛り上がりなど多くのよい影響がある。開催できる工夫を凝らしながら、継続していく必要があるのではないと意見が大勢占めていました。何より、北部の地域がお互いに刺激しながら力を維持することで南部地域に負けない地域の活性化につなげていくための一つの機会としても大きな意義があるのではないかと考えています。

(バレーボール綾部市)

70年も続いた伝統あるこの大会には、自分も市代表という自覚を持ちわくわくしながら、5月第2日曜日を楽しみにしていました。選手・監督として役員・審判員として、30数年にわたりこの大会に参加してきましたが、上記アンケートに答えたように、昨今の状況からこの大会の必要性を感じなくなりました。その大きな理由として、京都府民総体の存在があります。市を代表して選手や監督として参加するこの大会では、バスケット競技は8月の予選と11月の本選と2回あります5月第2日曜日に様々な行事ごとが入り、選手が集まりにくくなっている四都市大会はこの府民総体の縮小版という捉えをする選手が多く、優先順位が低くなっているのも事実です。

もし、来年度以降も継続されるようなら、次の2点を提案しますのでご検討ください。

○四都市総合スポーツ大会という名称を改め、四都市親睦スポーツ大会とし、総合順位制度を廃止する。(それにより、結団式、解団式、総合開会式が必要なくなる)

○実施種目については、種目ごとに四都市の代表が相談し、実施の有無を確認する。

(バスケットボール舞鶴市)

出場選手のレギュレーション見直し(府民総体と合わせる) 学生含む

永年表彰の廃止

大会プログラムの部数を削減

表彰式は必要、開会式はなし

審判員、スタッフへの謝礼は予算をとるべき

(バスケットボール福知山市)

選手の参加規定を、府民総体と合わせてはどうかという思いも一部聞いていま

す。

実施が困難な競技が出ていることは、わかります。が、市として、一体となって取り組む視点やモチベーションが上がることから、これまでどおりの実施がよいと感じています。

(バスケットボール綾部市)

ソフトボール競技も四都市大会の参加には各支部で大変な事情があると思います。一度大会を中断したりすると大会はなくなると思います。ソフトボール競技の競技人口を増やそうと活動していくうちはできる限り大会の開催を願います。ソフトボール競技につきましては、北京都ソフトボール協会という団体があり、各支部は所属しております。開催日時や開催地についても各競技で検討するのはいいことかもしれません。現段階ではソフトボール競技は現状通りの開催を求めます。

(ソフトボール舞鶴市)

開催の継続を希望するとしたが、役員の負担や選手集めが大変であるのは事実であり、課題である。特に人数の少ない協会は苦に感じている。市としての活動のため、市職員を含めた活動とできないかと感じる。

(ソフトボール綾部市)

現在は選手集めができていますが、野球人口の減少により近い将来、参加が厳しい状況になると思われまます。また、運営側も実働部隊がすくなくなっており、大会運営ができない恐れも想定されます。よって、当面は、現行通りでよいですが、今の内から見直しに着手しなければならないと思います。

(野球宮津市)

今回のアンケートの集計結果は、ぜひ各競技団体への公開をお願いします。

以下は開催すると仮定した場合について記載します。

① 日程について

ソフトテニスでは、大会予定日が近畿大会と重なることが度々あり、選手を集めることが難しいことがある。近畿大会は一般の部とシニアの部に別れ、いずれも別日の日曜日に開催されるため、今後重なる可能性が高まる。

よって全競技が同一日ではなく、種目毎に開催日を設定する。府民総体は、競技毎に開催日を設定しているので同様に行うことは可能と考える。

② 開催場所について

競技毎に適切と考えられる会場で行う。

ソフトテニスは、三段池科研電機テニスコートが望ましいと考える。この場合、会場設営は当番市とする。

三段池であれば、現行の対戦数から硬式テニスと同一日でも開催可能と考える。個別のことになるが、三段池であれば多少の降雨でも開催できるが、雨をしのげ

る場所がないため、テント設営が必要と考えているので、福知山市役所の協力で業者に依頼するようにして、会場までのテントの運搬をお願いしたい。

降雨でなくても日陰がないので、テントは必要と考えている。

③ 開催頻度について

毎年とする。

隔年あるいは4年毎などとすると、各市役所・各競技団体の準備開始時期から大会当日までの業務引継ぎがスムーズに行えない恐れがあり、ぎりぎりのスケジュールで準備しなければならなくなる。

④ 運営について

1 当番市・選手負担が大きいため、総合開会式は廃止する。

1 今年、福知山市は役員・団長等の会場訪問を取りやめました。これにより役員の方々の負担が軽減されたかと思しますので、各市合わせた方がよいかと考える。

1 開催日を競技毎に設定することにより、当日報告の必要性も薄れて時間的猶予ができ、慌ただしさもなくなる。また、福知山市では、当日の慰労会への役員訪問を行っているが、負担軽減のため取りやめることも可能と考える。

1 北部の伝統ある大会ではあるが、京丹後市・与謝野町などが含まれないのは何故か理解していない。競技によっては、現行含まれていない市町村の選手の参加を認めるルール作りはできないものか。これにより参加者を拡大することができないか。

(ソフトテニス福知山市)

各市で参加できる選手の人員に差ができてきている状況です。各協会でも四市で話し合いを行い、より良い方向で内容を見直し進めていくことが必要であると感じています。

(卓球福知山市)

四都市大会がなくなるとスポーツ選手の育成や活動、社会人との交流機会の減少などが懸念されます。地域の活性化のためにも継続を希望します。

(柔道宮津市)

現在のところ、開催日は固定され実施してきた。主催される当番市の担当者の方々の準備等お世話になってきました。70回を超える回を重ね今までのノウハウを継承しお世話になってきましたが、組織の世代交代も進み今までの社会情勢に合わないところも出てきているように感じます。現代に合った方法に変更することも視野にいれ、ご検討をお願いしたいと思います。

なにより、参加をお願いするにあたり、早期に選手の所属長（職場）へ依頼する必要であり、現在は慣例により依頼できる状況ではありません。大会開催の根拠となる要綱と依頼状を持参して派遣をお願いする以外は、選手派遣をお願いする方法がありませんので、よろしく願いいたします。（これは全体に関わる内容

ではないかと思いますが、大会継続には重要な内容ですのであえて記載させていただきます。）

(柔道舞鶴市)

歴史ある4都市スポーツ大会であることは承知していますが、時代の変遷とともに競技人口の激減、協会組織の高齢化など周囲の環境は厳しくなるばかりで一向に好転しません。特に市内中学校、高校に柔道部(クラブ)がなく、育成の基盤がないのは致命的でしょう。四都市に限って言えば、立地企業にも人材がないこと、コロナ以降警察署の協力が得られないこと、自衛隊や海上保安庁といった組織がないことなど、選手を依頼しようにもお願いする先がない状況で選手の確保は困難を極めています。

直近3大会は選手を派遣できず役員のみでの参加となっています。従って棄権扱いでポイントの対象にもならず、少人数で競技会を運営するにも過重な負担となり参加することの意義を感じられません。他市からは、選手を出すようにと言われますが、どうにもならない状況に毎回「針の筵」状態に陥ります。

以前、大会前のヒアリングで、オープン競技にしてほしいと言いましたが、そのような規定はないとのことで却下されています。事態を改善する策もなく、今後も同じ状況が続くことは容易に想像できますので、四都市がある限り「針の筵」は続きます。何とかありませんか。

(柔道綾部市)

希望をしますが、

- ・競技で順位を決めるだけでなく、合同稽古会などで親睦を図る。
- ・今の実施要項では出場選手を集めるのは大変です。京丹後市にも参加を要請してはどうですか。
- ・大会準備や選手集めは、競技団体まかせになっています。宮津市として各団体(例：警察や消防署)に参加要請をしてほしい。
- ・今の宮津市の人口では選手集めが大変です。

(剣道宮津市)

スポーツに対する考え方、そのニーズ等々を鑑みたときに、現行の四都市スポーツ大会を見直す時期に差し掛かっている。加えて各市の人口減の状況からも選手を集めることが難しくなっている種目もあり、四都市スポーツ大会運営が今後、難しくなることが予想される

そのような状況から四都市スポーツ大会の歴史を引き続きつつも、思い切って新たなスポーツ大会を構築することが大切と考える。そのため、まずは四都市という枠組みを外す。そして新たに舞鶴、綾部、福知山、宮津市、京丹後、伊根町および与謝野町等々の各市町で構築した「京都北部スポーツ祭」を設定する。どのような大会運営になるのか、また各種目、どのような形式・形態で実施できるのか、不明な点がおおく、ハードルは高いが今ここで皆が知恵を持ち寄り、真

剣な討議を進めないと、積み上げてきた四都市の灯は消え、新たなことも進める
ことができない状況に陥る。

(剣道舞鶴市)

7 1 回大会では宮津市(剣道、空手道、ゲートボール)、綾部市(柔道、空手道)、
舞鶴市・福知山市(空手道) 武道については団体戦の選手枠を少なくしたり、個人
戦にしたり、試合方法で競技は成立すると思いますが、各団体はそれを受け入
れるかどうか問題だと思います。継続していくには宮津市、綾部市の意見を尊重
して大会運営を考えていくべきかと思います。

(剣道福知山市)

・剣道競技に限らず、競技者の高齢化が進んでいるものもあり、若年層のスポー
ツ離れなどに対する、行政等の取り組みに期待する。

・青少年育成の視点では、人気スポーツとマイナー競技の差が大きいことや中学
校のクラブ活動を地域への検討もされているなど、社会環境が変化する中で、
単なる四都市大会の改変の議論だけでなく、底辺を支える競技団体への支援も
含めた検討を各市でお願いしたい。

(剣道綾部市)

選手集めが大変なので宮津市としては、数名他市から選手を借りてきてもよい
こととしてほしい。(2名までとか)

当番市の時の会場がローテーションになっているので、市民体育館に固定して
ほしい。

(バドミントン宮津市)

大変であるが、四都市の練習を通して競技力は確実に上がっている。競技からし
ばらく離れていた人も四都市の試合をきっかけに戻ってくる人もいた。他都市
との交流もあり良い関係も築き上げられている思う。

(バドミントン福知山市)

現状として、人口に差がある。四都市の交流の場が必要なのかどうか。どのスポ
ーツにおいても参加資格の在住在勤選手の構成が守られているのかどうか。確
かに伝統あるスポーツ大会なので辞めたら終わり、実施を維持すべき」との意見
はあると思います。ただ、大会主旨について果たして満足しているのでしょうか。
市民スポーツの推進は非常に重要な課題ですので、競技スポーツにしる、生涯ス
ポーツにしる、もっと別な取り組み方があると思うのですが。

(サッカー福知山市)

出場要件について在住在勤だけでなく、出身者など実情に応じて変更してはど
うか。人口8万人規模の舞鶴市、福知山市と振興局ルールで丹後も参加できる宮

津市に対して、条件的に不利である。人口減少の中、毎年棄権するかどうか瀬戸際なので検討いただきたい。

(サッカー綾部市)

人口減少が進む中、本当に選手集めが難しくなっております。

(空手道宮津市)

当連盟は選手の高齢化と若人が地元に着しないことから、競技人口の減少が大きく選手の確保が困難な状況です。そこで一つの提案をさせていただきます。成人年齢も18歳となりましたので、例えば学生の参加を可能にするなどの参加規程の見直しが必要な時期が来ているのではないのでしょうか。舞鶴においては高専の学生さん、福知山市では大学生など、、、ご検討いただければ幸いです。

(空手道舞鶴市)

来年は当番が宮津市ですが、宮津がゲートボールを不参加した場合でも世話をいただけるかどうか。今後三都市大会になっても実施を希望します。

(ゲートボール舞鶴市)

ゲートボール人口が減少している(宮津市等)があり、特に宮津市については隣の与謝野町と合併して出場できる体制がよいと考えます。

(ゲートボール福知山市)

綾部支部は高齢化と会員減少により参加チームを編成できるか不安材料が多い

(ゲートボール綾部市)

伝統である大会で他市との交流ができる貴重な機会になっており、今後も継続してほしい。競技人口が減少している中で市と協会また他市同士が協力して人材を確保できる企画(教室の開催など)できたらと思う。

(ボウリング舞鶴市)

今回福知山市の会場で行ったが、できる限り当番市の中で会場を作る方が望ましいと思います。

(ターゲットバードゴルフ舞鶴市)

ターゲットバードゴルフは団体戦(各市6名代表)と個人戦(各市28名以下)の構成で実施しております。団体戦の代表者数確保が厳しい市もありますが場合によっては、四市の各協会協議で代表人数の調整を行えば継続可能かと考えております。四都市交流と技術向上のモチベーションのため、継続を希望します。

(ターゲットバードゴルフ福知山市)